

平成19年4月24日

「全国初 金融機関の全役員、経営幹部に対する 財務省による個人向け国債のIR」について

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-15-1 理事長 斉藤 寿臣）では、平成19年4月25日（木）に財務省理財局国債業務課 片山 一夫課長を招き、個人向け国債のIRを支店長会議の席で行います。

この個人向け国債のIRには理事長をはじめ、全役員及び経営幹部など約100名が参加します。

財務省は平成19年度から、個人向け国債のIRを積極的に行なう方針ですが、金融機関に出向いて全店規模で行うIRは全国で初めてです。

当金庫は、平成19年度の事業計画の中で、「多様化する顧客ニーズへの対応」を掲げており、個人向け国債を預かり資産の主要商品の一つに位置づけています。

また、今年4月1日より金融サービス部を新設して、金融商品・サービスの機能強化を図りました。

個人向け国債のうち、平成17年度から新たに募集を始めた個人向け国債（固定・5年）の販売は特に順調です。今回の個人向け国債のIRを有効に活用して、お客様のニーズに合った預かり資産の増強に努めます。

以 上

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗